

令和2年度事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

◇海王丸パーク◇ (面積:約9.6ha)



◇富山新港臨海野鳥園◇(面積:約4.6ha)



◇富山県新湊マリーナ・新湊マリーナ緑地◇(面積:約16.5ha)



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、帆船海王丸の一般公開を4月中旬から約1か月間休止し、年10回の実施を予定していた総帆展帆もすべて中止となった。また、春・秋の大型イベントも中止となり、海洋教室の実施が1団体にとどまるなど、事業活動に大きな影響を受けた。

そうした中、帆船海王丸一般公開30周年を記念して、7月には恋人の聖地と富山湾を夫婦で体験するイベントを、8月には記念式典や記念講演会などを開催し、多くの方々とともにこれまでの歩みを振り返り、将来に向けて新たなスタートを切る節目の年となった。施設面では、トイレの洋式化、自動水栓化、ベビーシートの増設等が行われ、利便性や安心感が向上した。

当財団としては、令和3年度も、万全の感染防止対策を講じながら、富山県、射水市及び関係団体と連携して、帆船海王丸の保存・公開や各種イベントの開催等を通じ、雄大な景観を誇る海王丸パークや日本海側有数の規模を誇る新湊マリーナの魅力の向上と発信に努めていく。

I 海王丸パークの管理運営

1 パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等

(1) 植物管理

- ・芝管理（約1.6ha）
- ・樹木管理（プランター植栽、剪定、害虫駆除、雪囲い等）

(2) 施設管理

- ・清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）
- ・自家用電気工作物保安管理、遊具点検・補修
- ・「展望広場」の供用（雷等の注意報発令時は閉鎖。HP、園内案内表示3箇所周知）



2 日本海交流センターの管理運営

(1) 展示ホールでのパネル展示等

- ① 世界の帆船模型展
- ② 「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟
- ③ きららか射水の紹介
- ④ 環日本海地域へのゲートウェイ・日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港
- ⑤ わたしたちと海 など

(2) 施設の利用促進

研修室の会議等への利用、談話室の賃貸

(3) 館内の清掃、機械警備等

3 帆船海王丸保存事業

帆船海王丸を「海に浮かぶ生きた帆船」の姿で保存し、美観を守るため、船体の諸法定検査の受検と定期的な保守点検作業及び整備保存工事を行うとともに、乗船者の安全確保に努めた。

(1) 法定検査等

- ① 船舶安全法にかかる検査 第1種中間検査 令和2年7月8日
- ② 消防設備保守点検 令和2年9月9日、令和3年3月3日

(2) 日常の保守点検整備

- ① 公開区域の保守整備（清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き等）
- ② マスト・ヤード・セイル等帆装艀装設備の保守、点検、補修及びセイルの製作
- ③ 船体各部の発錆部の補修等

(3) 船体整備等

- ① 船体及び展示マスト・ヤードの塗装
- ② セイルの取付け及び取外し
- ③ 帆装艀装整備
- ④ 電路改装

(4) 災害防止

船内防災センターにおける24時間集中監視の実施

4 帆船海王丸公開事業

帆船海王丸船内を一般公開した。

また、海王丸カレンダーの印刷配布、ホームページ、Facebook、インスタグラムなどによる各種情報の発信を行い、帆船海王丸のPRに努めた。

(1) 一般公開

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月18日から5月20日まで一般公開を休止した。また、大雪のため、1月7日～12日及び1月29日は、公開を休止した。

これら以外の期間については、定休日、船体整備期間（11月7日～27日、2月15日～3月10日）を除き、一般公開を実施した。

① 公開時間

区分	期 間	時 間
ア	4月1日～7月17日、9月1日～10月31日 3月11日～3月31日	9時30分～17時
イ	7月18日～8月31日	9時30分～18時
ウ	11月1日～2月14日	9時30分～16時30分

② 乗船料の減免

ア 無料

- ・海王丸進水記念日 2月14日
- ・総帆展帆日の小学生、学校行事で乗船する小学生と引率者 など

イ 半額

- ・パワーバレンタインウィーク期間中のカップル

③ 乗船者数 27,996人 一般公開以来の延乗船者数 2,133,843人

年度	乗船者数
平成28年度	67,830人
平成29年度	60,054人
平成30年度	60,958人
令和元年度	69,050人
令和2年度	27,996人

(2) 総帆展帆とボランティアの育成

① 総帆展帆 10回予定のところ、すべて中止

なお、一般公開30周年記念式典を開催した8月10日には、職員により縦帆10枚の展帆を行った。

② ボランティアの育成

ア ボランティア登録者数（令和3年3月末現在）

区分	人数		
登録者数	男 464人	女 262人	計 726人

イ 「ボランティアの集い」 令和3年3月28日

(3) 帆船海王丸の縦帆ミニ展帆、満船飾

縦帆ミニ展帆：イベント開催日等に縦帆4枚を展帆。4回実施

8月16日、10月11日、10月25日、11月3日

満船飾：記念日に国際信号旗を掲揚。2回実施

8月10日、2月14日

(4) ホームページ、Facebook、インスタグラム等

帆船海王丸に関する情報、海王丸パークで開催される各種イベント情報等を掲載

平成30年12月から、海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像を公開

令和2年4月から、スマートフォン、タブレット等に対応しリニューアル



(5) 夜間イルミネーション、ライトアップ

イルミネーション：毎日（船体整備期間を除く）、日没時から 22 時まで実施

ライトアップ：毎日、日没時から 22 時まで実施



(薄赤色にライトアップされた海王丸)

5 錬成等事業

帆船海王丸を活用し、規律正しい団体生活を通じて、児童、生徒、青少年の公德心、友愛、協調性及び責任感を体験習得させ、海と港と船に関する理解と知識を広めるため、海洋教室を開催した。

(1) 青少年錬成事業

① 海洋教室の開催

コース別	開催期間	参加団体数	参加者数	主な内容
日帰りコース	10月	1 団体	50人 (うち引率3人)	船内見学、結索実習 甲板清掃、操帆実習 マスト登り



(手旗信号訓練)



(マスト登り)

(2) 「帆船海王丸絵画コンクール2020」の実施

小学生（射水市内及び県西部の小学生）を対象に絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰するとともに、日本海交流センターに展示。

コンクールを通じて、児童の海・港・船に関する理解と知識が深まるよう努めた。

- ・応募数 93作品
- ・入賞作品展示 9月19日～10月25日、日本海交流センターホールで展示
- ・表彰式 10月25日、日本海交流センター第1・2研修室



(下学年の部最優秀作品)



(上学年の部最優秀作品)

6 海事広報活動の普及・推進

滑川高等学校生の受入れ（海王丸を活用した海事教育）

- ・2年 12月16日 15人、引率3人
- ・3年 12月10日 11人、引率3人

7 帆船海王丸一般公開30周年記念イベントの実施

(1) 恋人の聖地と世界で最も美しい富山湾を夫婦で体験する事業 7月19日

結婚歴30年以上の夫婦5組10名が、海王丸船上での幸せのベル結婚式、富山湾でのヨット乗船、富山湾の魚介を使ったディナーを体験（応募134組）



(2) 帆船海王丸一般公開 30 周年記念式典 8 月 10 日

国会議員、知事、射水市長等をお招きして記念式典を行い、30 周年を祝った。また、一般公開当初から通算 225 回以上総帆展帆に参加されているボランティア 6 名と、長年にわたり海王丸パークで清掃活動を行っている 2 団体に感謝状を贈呈した。



帆船海王丸一般公開30周年記念式典 令和2年 8月10日

(3) 記念講演会 8 月 10 日

初代帆船海王丸の誘致活動に尽力された富山商船高等学校名誉教授の雨宮洋司氏に「帆船海王丸運動のはじまりと帆船への期待」と題して講演いただいた。



(4) 記念パネル展 8 月 8 日～9 月 18 日

日本海交流センター展示室において、帆船海王丸一般公開 30 周年の歩みを振り返るパネル展を開催した。



8 イベントの実施（財団主催行事）

(1) 海王丸パークフェスティバル（8月8日～10日）

帆船海王丸一般公開30周年記念イベントとして、開催。射水市内中学校・高校吹奏楽部による演奏や船長と記念撮影、新湊観光船の乗船など。来場者約1万人



(2) パワーバレンタインウィーク 2021 in 海王丸パーク（2月8日～14日）

2月14日が「進水記念日」とバレンタインデーであることを記念して開催

- ・満船飾（2月14日）
- ・「メッセージ入り記念乗船券」発行
- ・進水記念日は乗船料無料、期間中のカップルの乗船料半額
- ・バレンタインスイーツ提供（2月13日・14日）
- ・特製チョコレートプレゼント（2月14日）



(3) 鯉のぼりの掲揚及び花の迷路の設置

鯉のぼりの掲揚（4月10日～5月5日）

花の迷路の設置（4月10日～11月3日）

(4) 「船上結婚式」の挙行

海王丸船上で結婚証明書に署名し、指輪を交換する結婚式 9月26日



(5) 「幸せのベル結婚式」の挙行

海王丸船上の幸せのベルを鳴らして愛を誓う結婚식을1回実施

(6) 2021年海王丸カレンダー作成

総帆展帆予定日を記載したA1判カレンダーを1,000部作成し、旅行業者等に配布

◎海王丸パークの年間入込数 563,500人

年度	年間入込数
平成28年度	1,023,700人
平成29年度	987,300人
平成30年度	1,178,900人
令和元年度	1,201,500人
令和2年度	563,500人

II 臨海野鳥園（海王バードパーク）の管理運営

1 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

休園日を除く土・日曜日、祝日は、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。（4月19日から5月31日まで及び1月9日から17日まで休止）

また、来園者に野鳥に関する知識を深めてもらうため、観察センター内に野鳥図鑑や関係資料を備えておくとともに、野鳥愛好家が撮影した貴重な写真などを展示。

ホームページ、Facebook等を活用し、季節によって観察できる野鳥が異なることなどもPRした。

2 探鳥会（4回）の開催

渡り鳥の飛来時期などに合わせて、野鳥に関する知識の豊富な講師を招いて探鳥会を年4回実施。うち1回は、野鳥に関する講演会を併せて開催

(1) 探鳥会

回	開催期日
1	11月15日
2	12月13日
3	2月21日
4	3月21日



(2) 講演会

3月21日 探鳥会と同日に実施

講師：松田 勉氏 富山雷鳥研究会事務局長

演題「立山の生き物たち—ライチョウとの関わりを中心として—」



(3) 年間入込数 2,670人

(4) 野鳥観察指導員登録者数 30人

Ⅲ 新湊マリーナの管理運営

1 マリーナ施設及び同緑地の管理運営

- ・50t テルハ式クレーン保守点検 (1回/年)
- ・20t 自走式クレーン保守点検 (1回/年)
- ・ジブクレーン保守点検 (日常点検)
- ・浮棧橋保守点検 (1回/年)
- ・消防設備保守点検 (2回/年)
- ・自家用電気工作物保安管理 (1回/月等)
- ・新湊マリーナ夜間巡回警備 (繁忙期：2回/日、閑散期：1回/日)
- ・監視カメラ・ライブカメラによる監視
- ・構内見回り (緑地管理・保管艇管理)、機器の安全点検 (1回以上/日)

2 マリーナ保管・利用状況 (令和3年3月末現在 登録数339艇)

(1) 登録数 (艇)

区分	陸置艇	競技用小型ヨット	棧橋係留艇	合計
3月末現在 (A)	103艇	85艇	151艇	339艇
保管可能数 (B)	157艇	100艇	185艇	442艇
収容率 (A/B)	65%	85%	82%	77%

(2) 保管艇内訳 (令和2年3月末現在の保管艇内訳)

区分	大型ヨット	競技用小型ヨット	モーターボート	合計
登録数	41艇	85艇	213艇	339艇
割合	12%	25%	63%	100%

3 利用促進等事業

(1) 営業時間の延長（平成 29 年度から）

4 月 1 日から 9 月 30 日までの土日祝については営業時間を午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分まで延長

(2) 高圧洗浄機のレンタル（平成 21 年度から）

利用者へのサービス向上のため実施

(3) 修理ヤード利用料金の無料化（平成 22 年度から）

利用（契約）者に対するサービスとして、修理ヤードの利用料金（日額 2,100 円）を無料としている。

(4) ホームページ及び Facebook（平成 27 年度から）による情報提供

毎日の風向風速・釣果情報・イベント案内・スタッフのブログ等、情報発信に努めている。平成 28 年度からはライブカメラを設置し、ホームページで公開している。

(5) 国際 VHF 無線の基地局設置（平成 24 年度から）

利用者アンケートからの要望により国際 VHF 無線を設置した。これにより、海上にいる利用者へ気象情報や安全情報を提供している。

(6) 一般開放日（平成 26 年度から）

地域に開かれた施設とするため、毎月第 3 日曜日を一般開放日としている。

(7) その他

- ・製氷機の設置
- ・海上安全指導



製氷機の設置



海上安全指導

5 マリーナ職員による安全対策

(1) 構内見回り点検（1 回以上／日）

(2) 上下架装置の安全点検（1 回／日）

(3) 荒天時警戒（保管艇）

(4) 栈橋貝落とし作業（1 回／年）

(5) 緑地公園草刈作業（2 回／年）

(6) 強風時増しもやい作業

(7) 施設内洗浄作業



(職員による点検)

6 企画事業

(1) 販売艇展示事業

販売艇(10 艇)を展示し、保管艇の増及びマリーナの振興と活性化を図る。



(2) レンタルボート事業

4月1日から10月31日までの間、県外在住者向けのレンタルボート事業を実施
 (29年度から実施。新型コロナ対策のため、4月18日から5月31日まで休止)
 利用実績 62件 (前年度利用実績71件)

長野県	20件
石川県	17件
岐阜県	8件
大阪府	7件
北海道	3件
愛知県	3件
埼玉県	2件
千葉県	1件
神奈川県	1件
合計	62件

(3) マリンチック街道の認定

平成31年3月から、国土交通省により、プレジャーボート等によるクルージングに、海の駅等に寄港・上陸して近郊の観光地やグルメスポット等を巡るといった要素を加えたモデルルートを認定するマリンチック街道として、新湊マリーナを起点・終点とする「富山湾」が認定されている。

IV 県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県営渡船の堀岡発着場における陸上作業員として、乗下船する旅客及び車両の誘導その他県営渡船の運航に係る補助業務を行った。